

日本共産党が予算組替え動議を提出

金持ち減税やめ、市民の負担軽減を

2月定例会本会議(3月19日) 岡田ゆき子議員

日本共産党名古屋市議団は3月19日に予算組替え動議を議長に提出し、岡田ゆき子議員が提案説明を行いました。動議は賛成少数で否決されました。岡田議員の提案説明の内容を紹介します。

金持ち減税中止、大型開発見直し 120億円の財源を確保

物価高が留まることなく、市民の暮らしと営業を圧迫し続けています。この物価高から市民生活を守るために、以下の方向で、予算案の抜本的な組替えを提案します。

第1に、最高減税額が492万円にも上る、市民税減税を中止して、高額所得者には応分の負担を求め、公平な税制に戻します。

第2に、名古屋城天守閣の木造復元、木曾川水系連絡導水路事業への出資、中部国際空港の代替滑走路、名駅南地下公共空間整備など、不要不急の大型開発事業を見直し、市民税減税の中止とあわせて、約20億円を確保します。



1

市施設の使用料値上げ中止、 生活保護世帯の水道料金減免継続、 補聴器購入助成、奨学金返還支援 ……市民の暮らしを応援

第3に、確保した財源を使い、公の施設使用料・手数料の値上げを中止します。

生活保護世帯向けの上下水道料金減免制度を継続し、国民健康保険料・後期高齢者医療保険料の値上げを中止します。

敬老パスの負担金の引き下げと加齢性難聴者の補聴器購入補助制度を早期に実施します。

在宅高齢者、障害者、子どもがいる低所得者世帯へのエアコン等設置助成を行います。

高等学校給付型奨学金の対象を全非課税世帯へ広げ、奨学金返還支援制度は、あらゆる分野で働く若者を対象に創設し応援します。

組み替えの主な内容 これだけのことできます

①市民の福祉や暮らし、子育て支援の予算を増やす

- ・市施設の使用料、手数料の値上げの中止 19.4億円
- ・生活保護世帯への上下水道料金減免制度の継続 5.3億円
- ・国民健康保険料値上げの中止 10億円
- ・国民健康保険料における
 - 18歳までの子どもの均等割を5割軽減 4.6億円
- ・後期高齢者医療保険値上げの中止 26.4億円
- ・敬老パス一部負担金の値下げ 7億円
- ・加齢性難聴者への補聴器購入助成創設 3億円
- ・低所得世帯へのエアコン設置助成創設 3億円
- ・奨学金返還支援制度の創設 10.8億円
- ・高等学校給付型奨学金の対象を非課税全世帯に拡充 2億円
- ・住宅リフォーム制度創設 20億円
- ・水道管の耐震化 7.5億円

②金持ち減税中止、大型事業の見直しで財源を確保

- ・市民税5%減税の中止 107億円
- ・名古屋城天守閣木造復元の中止 5.3億円
- ・中部空港2本目滑走路建設の中止 1.4億円
- ・高級ホテル建設補助の中止 3億円
- ・名古屋高速の出入り口増設等の中止 25億円
- ・徳山ダム導水路建設の中止 2100万円
- ・ささしま地下通路建設の中止 4700万円
- ・弥富相生山の道路工事再開方針の撤回 4000万円

←詳細は市議団HPをご覧ください。